

加速器一筋40年の専門家が語る、 加速器の魅力と実力 ーがん治療用加速器システムの実現と今後ー

12月8日(土)

10:30~12:00

千葉市科学館 9階科学工作室 定員40名



【講師】野田 耕司

(国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 所長)

私と加速器との出会いは、大学4年生で始めた重イオン加速器の設計研究です。卒業後は企業で加速器を開発に携わり、縁あって、1989年に放医研に来てからは、がん治療に用いる重粒子線加速器「HIMAC」の建設と技術開発をしてきました。そこでこの講演では、加速器一筋、約40年の私が見てきた世界中の加速器の活用例や魅力、放医研における加速器の医学利用の展望をお話します。

《プロフィール》のだこうじ・1981年3月、九州大学大学院・工学研究科、修士課程修了。1989年より、重粒子線がん治療装置HIMACの建設に従事し、医用重イオンシンクロトロンの研究開発を行う。1992年、九州大学大学院より博士(工学)を授与される。2006年より、高速3次元スキャンニング法による高精度治療照射法や超伝導重粒子線回転ガントリーの開発研究を行っている。2016年より現職。

【お申込】 電話 (043-308-0511) で事前予約 ※キャンセルの際はご連絡ください

【参加費】 常設展示入館料 (大人510円、高校生300円、小中学生100円)

【主催】 千葉市科学館 〒260-0013千葉市中央区中央4-5-1 きぼーる7~10階
FAX.043-308-0520 URL.<http://www.kagakukanq.com/>Twitter.@chiba_kagakuQ

キリトリ

「千葉市科学館 大人が楽しむ科学教室」お申込用紙

「加速器一筋40年の専門家が語る、加速器の魅力と実力ーがん治療用加速器システムの実現と今後ー」

○開催日 : 12月8日(土)10:30~12:00

○氏名(フリガナ) : _____

○電話番号 : _____

【氏名・電話番号】をご記入の上、千葉市科学館7階事務室インフォメーションにお持ち下さい

体の中から放射線をがんにあてる 古いけど新しい標的アイソトープ治療

12月15日(土)

10:30~12:00

千葉市科学館 9階科学工作室 定員40名

【講師】東 達也

(国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
臨床研究クラスター 分子イメージング診断・治療研究部 部長)



核医学治療・RI内用療法という治療を聞いたことはありますか？
放射性ヨウ素-131から出る放射線による甲状腺がんやバセドウ病の治療
はその代表例です。日本でも古くから行われていますが、近年、多数の核
種や製剤が登場したことで、診断と治療を融合した「標的アイソトープ治療」
という新しいコンセプトの治療法に進化してきているのです。
そこでこの講演では、欧米での標的アイソトープ治療の現状と進展や、日
本の現状と放医研の取り組みを紹介します。

《プロフィール》 ひがしたつや・1989年京都大学医学部卒業後、大阪通信病院内科に勤務。1994年京都大
学大学院 博士課程に入学し、1998年医学博士 修得後、米国ミシガン大学医学部に核医学科研究員として
留学。核医学診断・治療医として、2000年京都大学医学部附属病院、2006年滋賀県立成人病センター研究所
で勤務し、2016年より現職。

【お申込】 電話 (043-308-0511) で事前予約 ※キャンセルの際はご連絡ください

【参加費】 常設展示入館料 (大人510円、高校生300円、小中学生100円)

【主催】 千葉市科学館 〒260-0013千葉市中央区中央4-5-1 きぼーる7~10階
FAX.043-308-0520 URL.<http://www.kagakukanq.com/>Twitter.@chiba_kagakuQ

----- キリトリ -----

「千葉市科学館 大人が楽しむ科学教室」お申込用紙

「体の中から放射線をがんにあてる 古いけど新しい標的アイソトープ治療」

○開催日：12月15日(土)10:30~12:00

○氏名(フリガナ)： _____

○電話番号： _____

【氏名・電話番号】をご記入の上、千葉市科学館7階事務室インフォメーションにお持ち下さい